



本気 元気 根気

「本気で」「元気に」「根気よく」取り組むことよき気づく子供

佐賀市立巨勢小学校 学校だより 令和8年3月18日 第19号

■第79回卒業証書授与式

68名の卒業生が巣立っていきました！

3月13日(金)、創立150周年の節目の年の第79回卒業証書授与式を挙行いたしました。卒業生の真剣な立ち振舞い、心や気持ちのこもったお別れの言葉や式歌に、成長を感じました。本当に感動の式でした。卒業生は、巨勢小学校に入学後は、コロナ禍により、様々な教育活動が制限されました。不自由な学校生活を送った時期もありましたが、立派に成長したと思います。

4月からは中学生です。巨勢小学校で学んだことを生かして、きっと中学校でも活躍してくれることしょう。

小学校を卒業したとは言え、卒業生は巨勢の地域の子ども達です。今後とも見守っていただくようお願いいたします。



MAH00538

※ 式辞の内容を一部紹介します。

●この卒業証書には、**六年間のみなさんの努力の跡**はもとより、これまで皆さんを温かく見守って下さったご家族や教え導いて下さった先生方の深い愛情など**たくさんの人々の思いも込められています**。どうぞその意味をしっかりと受け止めてください。

●卒業とは、一つの区切りではありますが、**決して終わりを意味するものではありません**。今日は六年間の小学校生生活を振り返るとともに、**新たな一步を踏み出す重要な出発の日**でもあるのです

●卒業にあたり、みなさんに伝えたいことが二つあります。それは、「人との出会いを大切にすること」、もう一つは「感謝の心を忘れないこと」の二つです。

●一つ目、「**人との出会いを大切に**する」ということ。

●これまで、ともに過ごしてきた仲間との出会いは、もちろん大切にしてください。そのうえで**これからの出会いも大切に**してほしいのです。

●ある学校の卒業文集だったと思いますが、こんな言葉がありました。「**この学校での出会いは、人生を変えるほどの価値がある**」と書いてありました。みなさんは、これから多くの人と出会います。中学校に入学すれば、中学校の先生やその中学校に入学した人、高校に入学すれば高校の先生やその高校に入学した人、大学生や社会人になれば様々などころから来た人と出会うこととなります。**新しい人との出会いは、新たな視点や経験をもたらし、成長や学びの機会となり、豊かな日々をつくってくれます**。

●二つ目、「**感謝の心を忘れない**」ということ。

●こうやって、この場にいることも、家族、親戚、地域の方、先生方、仲間など、**いろいろな人たちに支えられてきたおかげ**です。イランやその周辺の国々など、海外で起きている争い、地震、森林火災など国内で起きる自然災害を考えれば、当たり前のように過ごしている毎日がいかに幸せかということです。人は一人では生きていけません。いろいろな人に支えられ、支え合って生きています。**すべての事に感謝の心を忘れないでください**。そして「ありがとう」の言葉を伝えて欲しいと思います。**常に感謝の心もち歩むこと、その感謝の心が幸せな日々を作ってくれます**。

■ 1～3年生と6年生のお別れの式 ■

3月12日(木)、6年生の修了式後、卒業式に参加しない**1～3年生と6年生のお別れの式**を行いました。**きちんとした形で、お別れをした方がよいとの考え**で実施しました。それぞれから、お別れの言葉があり、校歌を歌った後、3年生の生演奏で6年生が退場していきました。1～3年生は、6年生の姿に、数年後の自分自身の姿を重ねていたのではないのでしょうか。

